

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム なの花

作成日： 令和4年2月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		外出機会が少なくなったため、気分転換や張り合いの確保が必要。	ご家族と楽しむ機会の提供で、生活に張り合いを持っていただく。 ご家族にはご本人の生活の様子を理解して頂くための情報提供の検討。	○施設行事の様子をご家族に書面で伝達する。 ・感染症等の影響を考慮した上での行事企画。 ・ご家族のリクエストによる行事の提供。	12 か月
2		「もっと役に立ちたい」、「手伝うことはないか」と思っている利用者の気持ちがある。	達成感、満足感を持っていただき充実した日常生活に近づける。	○利用者の状況に合わせたお手伝いの役割分担。 ・食器拭き、洗濯物たたみ、洗濯物干し、手すりの掃除、居室のモップ掛け、布巾作り、おやつの買い出し、おやつ作り、花の水やり、必要な食材の買い出し、その他。	12 か月
3		すぐそばに商店街があるが、交流の機会が少ない。地域の交流が持ちやすい活動センター、幼稚園等の協力を得て、広い世代との交流機会が必要である。	感染症に留意した上で、地域との交流を通じ、「なの花」を知っていただくことで、近隣住人、若い世代等広い範囲と良好に信頼を構築して協力体制を設けていく。	○近隣住人への挨拶を行い、園の認知度向上を図る。	12 か月
4		緊急対応時にうまく行動できない時があったため、手順の再確認が必要。	事故、急変時における適切な対応を全職員が周知する。	○緊急時の対応についてマニュアルの再確認。 ・ヒヤリハットや事故報告の定期的な検討会 ・緊急時の事故や急変に対するシミュレーションを行い、定期的な勉強会を行う。 ・防災、衛生用備品の保管場所の周知徹底。感染症対策用品（マスク、ガウン等）、ヘルメットなど。	12 か月